

八十路の病院電子カルテ修練、医学会・温泉学会参加等余話

東区・紫南支部 有馬 榮徳

平成30年は八十路中葉の私なりに充実した1年でした。

1. 森口病院に電子カルテ導入後退職

昨年5月半ばまで同病院に4年間勤め新しく導入された同病院の電子カルテシステムも勉強しました。私の受け持ちの入院患者百名弱(2, 3階) 週4日の診療や心のケア温泉の森・デイケア患者70人前後、週2日の回診等にもどうにか使えるようになり、ご指導ご援助いただいた職員の皆さんに感謝しています。お陰様でどうにか大過なく勤め、年2回の医学会等出張命令でも勉強できたことを感謝しています。以下各種学会出張等記します。

2. 学会出席 (2018年自弁出張含む)

1) 温泉学会第4回関西支部情報交換会3月3-4日・1泊 (勤務病院出張命令), 和歌山・休暇村紀伊加太 (温泉)

丘上の同温泉のすぐ近くの海岸丘陵に戦時中米海軍艦船等の侵攻に備えた軍の砲台陣地跡がありその弾薬庫・運搬用軌道根跡が眼下に望れます - 因みに筆者は鹿児島市の北隣・旧制加治木中学入学の1945年8月11日、終戦の4日前、登校中に米軍機編隊の空爆を受け校舎は全焼、同級生1人を含む生徒15人が殉難死した73年前の地獄絵の修羅場を思い出します (筆者は毎年同じ日の朝、母校殉難学徒の碑に参詣、献花焼香を続けています) - 。この砲台等が火を噴くことが無かったのはせめてもの幸いだったと学会場の丘から東側の太平洋を眺めることでした。

学会は盛会裏に終了しました。

2) 鹿児島県拡大外科同門会、4月21日、城

山ホテル鹿児島、鹿児島。

3) 鹿児島小児外科研究会、5月4日、鹿児島大学病院、城山ホテル鹿児島、鹿児島。

4) 第55回日本小児外科学会学術集会、(筆者・特別会員) 5月30日-6月1日、新潟、招待2泊。

5) 日本肝胆脾外科学会学術集会 (特別会員)・30周年記念式典・鼎談および社員総会、6月7-9日、横浜招待1泊。

6) 第9回日本プライマリ・ケア連合学会大会 (認定医), 6月15-17日、津市。

7) 第73回日本消化器外科学会総会 (特別会員・招待1泊)・創立50周年記念式典・定期社員総会、7月12-14日、県民交流センター会場での‘粒子線治療 (指宿)’、特別講演に筆者: 自らの前立腺がん被照射完治体験を発言 - 満場の拍手あり、鹿児島。

8) 第47回九州小児外科研究会 (名誉会員), 8月25-26日、福岡。

9) 第41回日本肺・胆管合流異常研究会 (特別会員), 9月7-8日、東京。

10) 温泉学会第28回兵庫・城崎大会、9月7-9日、1泊、城崎温泉 (註: 鹿児島県医師会報2019年新春隨筆特集号参照)。

11) 九州大学麻酔蘇生学教室開講60周年記念会、九大医学部・西鉄グランドホテル、11月10日、福岡。

12) 鹿児島県大医学部昭33卒三三会卒後60周年記念会、11月17日、城山ホテル鹿児島、鹿児島 (註: 前記鹿児島県医師会同特集参照)。

13) 鹿児島大学大学院医歯学研究科、先進治療学専攻、循環器・呼吸器病学講座、心臓血管・消化器外科分野 (旧 第二外科) 開講記念会、12月10日、城山ホテル鹿児島、鹿児島。

3. 桜島とマチュピチュ

医学部学生時代クラスの友人らと登った桜島は今は噴火中で登山禁止。先日の卒後60周年のクラス会でも国吉君と南岳（当時も小噴火中）に登ったことが話題になりましたが当



写真1 鹿県大医昭33卒クラス会で、左より新山、筆者、国吉（城山ホテル鹿児島、平成30年11月）



写真2 与次郎のビルより桜島の噴煙を望む（2018年10月）



写真3 マチュピチュ風景（ペルー）

時爆発は見られず、北岳の擂鉢状の火口底は野球場ほどの広さで草がまばらに生えた平面で旧友数人と持参したボールでバレーを楽しんだ想い出があり、独りで北・中・南岳に2,3回登頂しています - 昭和30年代、昭和新火口噴火前の話です（写真1）。

今年8月に与次郎のビルから見た噴煙を撮影しました（写真2）。

マチュピチュ（写真3）は私の山行の中でも特別な体験でイグアスの滝のヘリ遊覧とともに南米で最も感動した風景です。地球一周104日間の船旅（ピースボート）を地方病院在職中に休暇を取って参加。附属看護学校2校他でビデオやスライドで供覧しています。アフリカ縦断でキリマンジャロの上空も飛び、鹿大医学部在職中、筆者は同山岳部部長として医学生部員らの山行日程・装備など報告を受け、部長許可を出す役目でしたが、同山顶踏破後の学生らの写真付き報告を想い出したりしました。

学生時代、学友会の山岳部（筆者ら創設）、弓道部（同創設）、柔道部（5段）、空手部（工学部の稻盛和夫君も教養部時代一緒）などのOB、OG会にも毎年何回か顔を出し盃を傾けながら学生時代を振り返っている今日この頃です。

2019年が素晴らしい年でありますように。